

<ウェブサイト公開用>

令和3年度第2回東大阪市社会福祉審議会児童福祉専門分科会 議事要旨

日 時	令和3年12月23日(木) 14時～16時
場 所	総合庁舎22階会議室1・2
出席者	<p>(社会福祉審議会児童福祉専門分科会委員)</p> <p>井上寿美、太田淑美、中川千恵美、山田祥隆、松川啓子、好川智也</p> <p>(事務局)</p> <p>子どもすこやか部 川東・川西、子育て支援室 本家、子ども家庭課 増井 子ども見守り相談センター 高品、子ども相談課 薬師川、保育室 関谷</p>
議 題	<p>1. (仮称)第2次東大阪市子どもの未来応援プランにかかる生活実態調査項目について</p> <p>2. 本市におけるヤングケアラー支援に関する取り組みについて</p>
議事内容	<p>(開会)</p> <p>(会長挨拶)</p> <p>(新任委員挨拶)</p> <p>【(仮称)第2次東大阪市子どもの未来応援プランにかかる生活実態調査項目について】</p> <p>○事務局</p> <p><u>次期計画策定スケジュールについて</u></p> <p>子どもの生活実態調査のアンケートの配布回収：2月末～3月中</p> <p>単純集計公表、関係団体のヒアリング：令和4年7月</p> <p>ひとり親の調査令和：令和4年8月頃</p> <p>パブリックコメントの募集：令和4年12月～令和5年1月頃</p> <p>社会福祉審議会への報告：令和5年2月</p> <p>計画策定：令和5年3月</p> <p><u>子どもの生活実態調査の調査概要について</u></p> <p>調査客体：小学校5年生、中学校2年生は全員約3700人及びその保護者</p> <p>16、17歳は1000人及びその保護者</p> <p>アンケート回収方法：小中学生及びその保護者は学校配布/Web・郵送回収</p>

16, 17 歳及びその保護者は郵送配布/Web・郵送回収

子どもの生活実態調査の調査項目について（小中学生用、16・17歳用、保護者用）

・小中学生用（8ページ、22問）

属性項目、教育面・認知能力（学力）、生活習慣、相談に関する項目、生活状況、精神状態、居場所に関する項目

・16、17歳用（8ページ、21問）

小中学生用に準じた設定に加えて現在の状況（学生・社会人）、アルバイトの有無

・保護者用（12ページ、38問）

属性項目、就労状況、子どもの幼少期の保育施設利用状況、子どもとのかかわり方、学校行事への参加状況、地域とのつながり、東大阪市での子育ての意向、子どもの地域のイベントなどへの参加状況、子どもの進学について、困った時の相談相手、経済状況、精神状態、生活の満足度、支援制度の利用状況、コロナの影響、相談窓口の認知状況、子どもの居場所について

○会長

・改めて調査票と関連する資料のご説明をしていただきました。また参考資料として相談窓口一覧、市長名での鑑文もあることをご説明いただきました。項目の文言等、表現方法も含めご意見、ご質問いただけますか。

○委員

・QRがつき多言語にも対応しており嬉しい。参考資料3にはルビが振っているが調査票にルビは振らないのか。振られないならば理由をお聞きしたい。またQRは通信費が発生するが、その点の記載は必要なのではないか。

○事務局

・最終的には全てにルビは振ります。各個人が印刷して郵送する時に郵送費がかかるということですか。

○委員

・スマホからアクセスしたら通信費がかかるのではないかと思います。

○事務局

- ・インターネットの通信費ということでしょうか。

○委員

- ・通信費がかかりますという一文を入れたほうがよりいいのではないかと思います。

○事務局

- ・Wi-Fi だとかからないかもしれませんが、Wi-Fi 以外だとかかる場合があるので一文を補足で入れようと思います。

○会長

- ・インターネットもしくはスマートフォンのキャリアとの契約上、Web で答えていただく上では通信費が必要になるような文言を入れていただければ。

○委員

- ・小中学生用 5 ページの間 13、10 の項目に「だれにも相談できない、相談したくない」とある。これは分けて聞く必要があると思う。「したくない」は精神状態で「できない」は人とのつながりというところだと思うが。

○事務局

- ・事務局で検討します。

○委員

- ・一つの質問項目に二つ意味が入っている点が気になる。小中学生用 6 ページ間 18 の①「他人に対して親切にするようにしている。他人の気持ちをよく考える。」でも二つの意味が含まれている。また②の「お腹がいたくなったり、気持ちが悪くなったりする。」など。また 16、17 歳用の 2 ページ間 2 で今どのような状況か伺っているが通信制、定時制で働きながら学んでいる方達はその他に書いていただくのか、すくい上げる必要がないということか、合わせてご検討いただきたい。

○事務局

- ・分かりました。

○会長

- ・二つの意味がある部分は前回調査や参照された内容もこのような形式だったか。

○事務局

- ・はい、国の研究報告に準拠しています。

○会長

- ・「誰にも相談できないと相談したくない」は選択肢を増やすとか、それ以外として括弧に何かを書くようなことを入れなくてもいいのかと思う。16、17歳の部分は専門学校はあるが通信制、定時制に所属している人はその他なのか。項目数に限界はあるが、必要な項目を入れていただくことは大切。また身体症状と心身症状を分けなくていいか等のご指摘も確認いただきたい。他の委員の皆さんもいかがですか。

○委員

- ・16、17歳用の問2からの流れが分かりにくい。学校に在籍している方はそのまま進むが、そこに属さない方々についてまた問7でアルバイトの間もある。これは高校、専門学校に進学しながらアルバイトをされていることだと全体を見ると分かるが質問されている方にとって流れが分かりにくいと感じた。また保護者用のアンケートで9ページ問28で経験をしたことがある部分で7項目書いてあるが、例えば国民健康保険の支払いが滞った、国民年金の支払いが滞った、金融機関に借金したことがあるとあるが、固定資産税や税の支払いが滞ったことがある場合にどこにも該当しないのではないか。これ以外に困ったことがある方は設問的にはどうなるのか。また特に16、17歳の方は色々考えながら書くと思うので本当の実態調査をする意味でも分かりやすい流れの中で設問を決めていただきたい。

○会長

- ・16、17歳の意見は貴重です。流れについて高校生、専門学校生以外の方は問9へという注意書きはあるが、そこを太字にしたり今のレイアウトを活かし次にどこを答えればよいかを分かるようにすることが大切。保護者用の問28も税の支払いが滞るといようなことをどうするか、その他という項目をつけて括弧の中に記入してもらおうということもできる。

○委員

- ・学校に在籍しているところで高校、専門学校等とあるが通信制も含むとかにすると分かりやすいかもしれない。このままではどこに丸をすればよい

か、その他（通信制）にして問 3 等は飛ばす方がいらっしやると思う。また小学校 5 年生と中学校 2 年生は全員で 16、17 歳は 1,000 人にされた理由を教えてください。

○事務局

- ・ 前回の調査では全て 1,000 人ずつで行い、その時の回収率が低く、小中については学校の協力で今回全員調査ができますが高校生については予算的なものもあり 1,000 人を超える調査ができない。

○委員

- ・ 回答率が 30%程度だと高校生は 300 人程アンケートが返ってくるがそれで十分と考えておられるのか。

○事務局

- ・ WEB でのアンケートも併用するので回収率が上がると予測しています。

○会長

- ・ 定時制となれば働いている人も含むので高校生、専門学校生以外としていいのか。通信制や定時制で働いている人であれば問 9 以降なのか、不登校状況で通信制を選んだ生徒さんもいる。就労している場合は問 9 にとぶ形だと思うがその辺り皆様いかがでしょうか。

○委員

- ・ 通信制、定時制に関わらず学習環境について確認したいと思う。そうすると学校に在籍していることになるのではないかと。仕事環境について深く聞くところはないので学校に在籍しているに含め、どのような学習環境であるかを把握することが大切だと思う。

○会長

- ・ その他欄に通信制や定時制の方が書いてくれるのか。学校籍の方以外は問 9 へというところか。高校生・専門学校生（学校籍がある方）以外は、という書き方にし働いてる人は 3 を選択し問 9 にとぶ。現状の学校種別と色々な選択肢との関連は重要な点だと思います。

○委員

- ・ 16、17 歳用の問 2 下の※は学校に行っていない人という意味か。問 9 に進んでくださいとあるが問 9 のイメージが湧かない。どういう意味か。

○会長

- ・働いている人がこの後、学び直しも含めてという意味合いもあるかもしれませんが。

○事務局

- ・今は働いているが将来的には大学に行きたいとか今後、高校卒業資格を取りたい方もおられると思うのでその辺りの状況を聞きたい。

○会長

- ・高卒認定などの手だてがあったりするので今働いてる方や学校を辞め今は学籍は無いが問 9 に繋げ確認したいということですね。

○委員

- ・アンケートの相談窓口で選択肢が各年代によって違うが、意味があるのか。小中学生であれば 10 項目、16, 17 歳であれば 11 項目、保護者用では 8 項目だが。

○事務局

- ・相談窓口は対象者が決まっているものもあり、小中学生対象の分は、高校には載せない形で選択したので数が異なる。

○会長

- ・ひきこもり相談については、小中学生のところには載せないということか。保護者用は 11 ページで選択肢は 8 個だが、ここにはないネットも含めた相談窓口が出てくる気もするのでその他欄を入れてもいいかもしれない。

○委員

- ・ページ加減だと思うが例えば小中学生の間 13 は選択肢が横に並び問 14 は縦に並んでる。見易さで言えば、縦の方が見やすいのではないか。

○会長

- ・横に並んでいるレイアウトと小中学生用の 6 ページだと縦に長く並んでいる。レイアウト上、仕方ないと思う。Web であれば縦に並ぶと思うが、紙で答えてもらう場合は縦と横に並んでしまう。字のフォントを小さくすると見えづらくなる。見易さで言えば縦になる。

○委員

- ・小中学生用の問 13 の 7 と 8 が見にくいので下に下げて綺麗に二つ並ぶよう

にすればいいと思う。2 段になっているのが見にくい訳では無く混ざっているのが見にくい。

○会長

- ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーのところとその他の大人の例示ですね。「学校で相談に乗ってくれる専門職」として下にスクールソーシャルワーカー※とつけて説明するか、その他の大人についても下のラインをつけてもらうようなレイアウトにするかという意見ですね。また 2、4、6、10 をぎりぎりまで下げる工夫ができそうというところです。他にご意見はいかかでしょうか。

○委員

- ・国の項目にもあるが性別を聞く必要性はあるのか。

○事務局

- ・現在学校で行っているアンケートにおいても男女の項目は減ってきている。今回の調査については男女の傾向を掴むことは支援する側にも重要。最終的には支援に繋がる可能性がある項目なので今回はつけさせていただく。

○会長

- ・重要なお意見だと思う。

○委員

- ・アンケートの項目番号で縦に並んでいる部分と横に並んでいる部分が混ざっている。縦のレイアウトの方が見やすいと思う。小中学生用の 4 ページの間 9 でも、項目番号が縦に奇数で横に偶数になっているが並びの問題なので見やすさを考えてもらったほうがいい。

○会長

- ・横だと目線を横に動かさないといけないので、横に選択肢がある場合は縦に番号を綴り、縦が終わったら横に行く目線の動きの方が良いということか。また相談機関先の情報も今回入れていただきとても良い。それを参考資料で入れてくださっており、これはコピーだから仕方ないが、小さく見づらい。カラーは無理かもしれないが入っていても見てくれるのは厳しいと思うがその辺りいかがでしょうか。

○委員

・これはあくまでも資料としてコピーして小さくしてるだけで、実際はカラーで三つ折りだと思う。

○事務局

・保健所で作成しているものは A3 の大きさのものを折りたたむようになっています。

○会長

・今日は縮小されているが実際は A3 サイズで白黒で折りたたむと見やすい。

○委員

・これは便利だと思う。

○会長

・カラーは無理か。

○事務局

・健康部で作っている部数は限られているので難しい。

○委員

・令和 3 年 3 月に作っているものでそれを利用するということですね。

○会長

・WEB のアンケートでも URL を付け、PDF に繋がるものがあったらいいと思う。改めて質問数を減らした点は答える側に立った工夫をされ、国で押さえるところや指標として確認したい点は設問において絞っていただいたと思う。問 17 の今の生活の満足度と色々紐づく項目なども見ていける。本当にこの QR をつけられるのは画期的。実際に東大阪でこのような WEB 調査を他の部署でされる場合回答率はどれくらいか。大阪府や他の調査でデータが出ている例とか何か数値をご存知でしたら教えてください。

○事務局

・このような大規模な WEB アンケートはあまり無いが、市政モニターアンケートがあります。それはアンケートの回答を協力していただく方を募集し、その方に回答いただく形式で回答率は 80% とか 90% 近くになります。今回 WEB を使いどれくらい上がるかは正直未知数です。

○委員

- ・参考資料 3 で回答方法は①か②のどちらかでお子さんと保護者の回答方法が違って問題はありませんとありこれは分かる。例えば資料 2 を見ると全部書き終わったら、自分で「子ども用」と書かれた封筒に入れて、封をしてください。それを保護者の方のアンケートと一緒に送ってもらってくださいと書いている。保護者が WEB で回答し小学生が紙で回答すれば郵送と WEB の二つになるということか。

○事務局

- ・その通りです。

○委員

- ・では保護者の方のアンケートと一緒に送ってもらってくださいというのは WEB で既に回答してしまっている保護者には当てはまらないのでは。

○事務局

- ・確かに保護者用のアンケートにはないのでそこは検討する。

○委員

- ・保護者は WEB でされる方が多いと思います。小学生も WEB で回答することもあるかもしれないのでこの文言の検討をお願いします。

○会長

- ・子どもが保護者に紙を渡しても保護者が WEB で答えたと思いスルーする恐れがある。

○委員

- ・返信用封筒と書いてもいいのではないか。

○事務局

- ・郵送の場合は、子ども用の封筒と返信用の封筒があります。子どもが紙で記入したら子ども用の封筒に入れて、一回り大きい返信用封筒に入れ保護者がもし紙であれば紙を返信用封筒に入れて返送する流れです。

○会長

- ・回答が必ずしも一緒ではないので保護者に渡して返信してもらおうということを子どもにも分かってもらえれば良いと思う。

○委員

- ・保護者が WEB で回答しても子どもさんが紙であれば郵送してくださいというようお願いの一文があってもいいと思う。

○会長

- ・保護者の方へということでご自身が WEB で答えてもお子さんが紙で答えたアンケートは封筒で送付してくださいというような注意喚起してもらえれば。後、市長の鑑文についてカラーは無理ですか。色を使うと回答率が上がる訳ではないがアンケートのお願いの意味が伝われば嬉しい。アンケートにルビがつくとその分スペースが必要で文字が小さくなるかもしれない。園での保護者向けのものでルビなどつけられるのか。

○委員

- ・つけてないと思う。

○会長

- ・すごく丁寧です。前回調査の時はルビなどつけていたか。

○事務局

- ・前回もつけておりました。

○会長

- ・他に皆様いかがでしょうか。実施する時は広報などに何かお知らせをするか。

○事務局

- ・実施する時は市政だよりなどに載せる予定。

○会長

- ・レイアウトやルビを振るとどうなるか、2列にわたる場合の数字番号のつけ方、一文に二つの意味がある問などをご検討いただきたい。今回の内容を元に展開するというご様子よろしいですか。スケジュール的には3月までに、学校で配布していただけるということですね。3月になると学校も忙しいので2月中を目途にということ。1点目の議題については、今いただいたご意見を元に庁内でご検討いただくということで進めていただければと思う。また経過など必要に応じて委員の皆さんにお知らせできたらということになると思う。それでは2点目、本市におけるヤングケアラー

支援に関する取り組みについてということで報告をお願いします。

【本市におけるヤングケアラー支援に関する取り組みについて】

○事務局

議題 2 についての報告

(閉会)